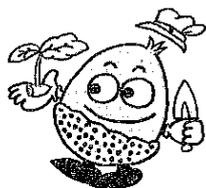


ネイチャークラブ会報

SINCE 1996



JREU



第 193 号

発行日：2023年6月6日

発行責任者：西垣 栄義

編集者：会報編集委員会



大宮地本ネイチャークラブ 第14回総会第16回例会炭まき報告



5月22日（月）、5年ぶりに大宮地本ネイチャークラブは総会例会を開催しました。

朝8時30分に日光駅へ集合し第16回例会会場へ車で移動。9時40分頃日光白根山菅沼ルート登山口に到着、徒歩で金精峠周辺を目指します。酸性雨の影響で木の立ち枯れが進むこの周辺で土を浄化する目的で炭を撒いてきました。スケジュールの関係で全定点木を回りきることができませんでしたが、4か所の定点木を探し出し、持参した炭を撒いてきました。残念ながら1か所の定点木は立ち枯れしていましたが、他の定点木は枯れず元気でした。大雨などの影響で山の地形が大きく変わっていて登山道をまともに歩けない状態でした。当日、雨予報でしたが降りだす前に無事下山することができました。



定点木に炭を撒きました



登山道はかなり荒れています

大宮地本ネイチャークラブ第14回総会開催

5月22日(月) JR 東労組宇都宮支部にて大宮地本ネイチャークラブ第14回総会を開催しました。森成部長からあいさつとして、「地本ネイチャークラブとして18春闘以降、ネイチャークラブ活動が停滞した状態だったこと。幹事会を開き全幹事がこのままの状態では良くないと考え、コロナ禍から活動制限が緩和したこともあり、今年は開催すると幹事で意思一致を図ってきた。その他では、4月からエルダーとして勤務しているが受け入れ先がなかなか見つからない中、地本定期委員会でその現実を発言したところ今の受け入れ先が決まった。このことで組織の重要性をあらためて感じた」と述べられました。

来賓として本部ネイチャークラブから青田幹事、大宮地本から大川原組織研修担当部長にもお越しいただきました。その中で地球環境が変化し生態系へ悪い影響が出てきている。我々が生きていく環境を守るためにも地道な環境活動の継続が必要と話がありました。

この総会で大宮地本ネイチャークラブは、停滞した活動時期を乗り越え、継続していくことを確認しました。そして、ネイチャークラブ活動を通して組合員の組織拡大・組織強化を目指して今後も活動を続けていきます！

(大宮地本ネイチャークラブ副部長 内藤 宣成)



森成部長の団結ガンバロー



交流会(小野塚さんの激励会)

大宮地本ネイチャークラブ 新役員体制

部長：森成 芳宏

副部長：内藤 宣成

事務長：西垣 栄義